

RUBeC 演習に参加して

楠 純 哉

Junya KUSUNOKI

情報メディア学専攻修士課程 2年

1. はじめに

私は2023年8月20日から9月3日の2週間、アメリカのカリフォルニア州にRUBeC演習のために滞在した。カリフォルニア州バークレーに位置するLSIにて約2週間にわたって英語の基礎である英文法、リスニングの学習を行った。そして自分の研究についてのプレゼンテーションを英語で発表する練習を行った。またカリフォルニア大学バークレー校の大学訪問を行った。そしてバークレーから少し離れた場所にあるオークランド近辺にある家でホームステイを行った。

今回の報告では授業内容やカリフォルニア大学バークレー校、休日の過ごし方、ホームステイ先の様子について報告する。

2. 参加した理由

RUBeC演習に参加を決めた理由のとして異なる文化、習慣にふれることができるからである。これにより日本では得ることのできない視野が獲得でき、将来の国際的なプロジェクトにおいて役に立つと考えたからだ。またRUBeC演習に参加することで英語に触れる機会が増えることで英語の力を向上すると考えたからだ。最終的にはRUBeC演習で培った経験を今後に生かしたいと思い参加した。

3. 授業内容

RUBeC演習では最初の1週間は英語の基礎について学習を行った。2週間は英語でのプレゼンテーションの練習を行った。

3.1 英語の基礎学習

授業は英語で行われ、英語の基礎学習を中心に進

められた。英語の基礎学習の一環として、文法とリスニングに焦点を当てた授業を行った。まず、文法の部分では、関係代名詞について詳しく学習した。関係代名詞は、前に出てきた言葉と、それを説明するための文をつなぐ役割を果たす。これは英語を使って情報を整理し、より効果的なコミュニケーションを可能にするために非常に重要な概念である。関係代名詞を理解することで、英語の文章をより流暢に読み書きできるようになった。また、英語のプレゼンテーションの原稿を作成する際にも、関係代名詞の知識が役立っていた。また、リスニングのスキルも授業の一環として行った。英語を聞き取る能力は、コミュニケーション能力を向上させるために不可欠である。授業では様々な英語音声を聞き、リスニングスキルを向上させる練習を行った。授業が終わる頃には英語はある程度聞き取れるようになった。

3.2 プレゼンテーション

研究に関するプレゼンテーションの授業では、専門的な内容を英語で伝えるスキルを磨く練習を行った。指導してもらった先生にはプレゼンテーション資料の文法や英語の表現のチェックをしてもらった。これにより、英語での表現力が向上した。また、話すスピード、トーン、姿勢、視覚的な要素など、良いプレゼンテーションを行うためのスキルを学んだ。この授業の最後には実際にプレゼンテーションをおこなった。実際のプレゼンテーションでは聴衆に分かりやすくておもしろいプレゼンテーションになるように心がけた。授業風景の様子を図1に示す。



図1 授業風景の様子

4. カリフォルニア大学バークレー校の様子

学校見学としてカリフォルニア大学バークレー校に訪問した。カリフォルニア大学バークレー校は、世界大学ランキングで最上位に位置する教育機関であり、世界的な名門校として知られている。アメリカの公立大学ランキングでは第1位を維持しており、多くの分野で世界トップクラスの教育水準と研究実績を持つ。

学校見学では実際にキャンパス内にある図書館などをめぐった。図書館では静かな環境が整備されており、多くの学生が学習に取り組んでいた。またキャンパス内には緑豊かな庭園や広場があり、学生たちがクリエイティブなアイデアを生み出すために最適な環境だった。

5. 休日の過ごし方、ホームステイ先の様子

休日にはサンフランシスコ動物園やヨセミテ国立公園に訪れた。サンフランシスコ動物園はカリフォルニア州に位置し、園内には250種類の動物が飼育

されている。敷地面積も東京ドーム8.5個分と広大な敷地であり、柵をあまり設けない動物園である。そのため動物をより身近に感じられる動物園である。

ヨセミテ国立公園はカリフォルニア州のシエラネバダ山脈に位置しており日本では見ることのできない光景を眺めることが出来る。

アメリカで休日を過ごしてみた感想として、買い物をするときやレストランに行くときなど、すべてが新鮮でとても勉強になった。特にチップの文化は良いサービスを受けたら心づけとして現金を渡す文化で、日本にはない文化で異なる考えを学べてとても良かった。

ホームステイ先では親切なホストファミリーが案内してくれた。滞在した2週間、安心して過ごすことが出来た。食事に関してはホームステイ先で朝食と夕食を食べ昼はLSIの近くの飲食店に行った。夕食ではアメリカならではの食事を楽しんだ。食事中にはアメリカの文化や日本について様々なことについて英語で話した。

6. RUBeC 演習に参加して

今回 RUBeC 演習に参加して、実際に英語に触れただけでなく、アメリカの文化に触れることが出来た。そして実際に現地の人と交流した経験は今後の人生の糧になると感じた。RUBeC 演習に参加する前は、実際に自分の英語力で現地の人とコミュニケーションをうまく取れるか心配だったが、実際に参加してみて思ったよりやり取りができると感じた。また異なる文化に触れることで様々なものの捉え方をすることが出来るようになった。

今後は RUBeC 演習から得た経験とスキルを元に、今後の人生に活かしていきたいと考えている。